

さくら



令和6年11月5日(火)

大谷翔平選手に学ぶ



ワールドシリーズ（米大リーグ）を制した、ドジャースの優勝パレードがテレビで放映されていました。大谷翔平、山本由伸の両選手は、感無量の表情で沿道を埋め尽くすファンに手を振っていました。野球本場の地で、日本人選手が活躍していることを、誇りに感じます。

「MVP、MVP」と連呼する大谷選手への賞賛の声。それに応えて手を振る彼。警備にあたる警察官の頭には、ドジャースのキャップが。何ともアメリカらしい光景です。

先週に引き続き、大谷翔平選手に学びます。彼は天才だという声をよく聞きます。日本のみならずアメリカにおいても、「二刀流」という困難なプレイスタイルを極めているからです。数々の記録から、彼の計り知れない才能を感じます。それゆえ「天才」と評されるでしょう。

しかし、どれほど才能があったとしても、それに磨きをかけなければ偉大な結果を得ることはできません。彼の偉業の裏には、計り知れない努力があることが推測できます。それはどのような努力でしょうか。これまでの報道や、彼自身の発言などから考えます。

まずは「人柄」に注目します。かつて高校生だった大谷選手を指導した方に聞いた話です。「大谷選手は自分に厳しく、人に優しい。だからこそ、周囲から応援される」 次に「心」の面では、野球に対する情熱と現状に甘んじない姿勢を強く感じます。絶えず、今の自分を超えるとする「克己心」という言葉が似合います。最後に「行動」の面では、常に新たな目標を設定し、それを成し遂げるための努力を徹底して行っているように感じます。

このような彼の生き方に、私たちは大いに学ぶことができます。ただし、その学びは、実践しなければ何も得ることはできません。

学校ホームページで、日々の教育活動のようすを公開しています。どうぞ、本校ホームページを閲覧してください。

